

「米は食ひつけぬ…… ひえか粟が欲しい」

みじめ過ぐる東北の凶作地

結氷と寒流

東北冷害の原因

根本的対策として
空き海から科学的研究

過日仙台市に東北六縣の内務部長を招集して既報の救済大綱を示すと共に凶作地の實状を聽取した内務省の赤木社會局長並に藤野保護長谷川職業兩課長一行は舊服歸京したが、赤木長官は、救済策は徹底したが、窮民の食料品と娘身賣防止は困った問題だ。

さて次の如く語った。

現在食料品に困つてゐるのは東北各縣を通じて農民の最下級の部で、全般的に食料缺乏を來すのは來年の一、二月頃だらう、すでに困つてゐるものには各縣を通じて食料供給をやつてゐるが、ここに困った問題が起つたのは食料品の種類だ、東北地方の農民は豊年の時は取つて来たが、年に食料を當ててゐるのでも今も食ひかけられ、それで困つたのは食料品の種類だ。

當時は東北地方は永い間娘や栗を當ててゐるのではなく、この問題に困つた問題だ。

海の精銳舉つて参加

海軍大演習

今夏太平洋で

豫定だと

豫定だと